

甲子川水門工事 説明会

平成30年10月27日(土)

岩手県沿岸広域振興局土木部
(株)熊谷組・(株)本間組・(株)小澤組特定共同企業体

甲子川水門完成イメージ(上流側より)

1. 釜石港の防護ライン①

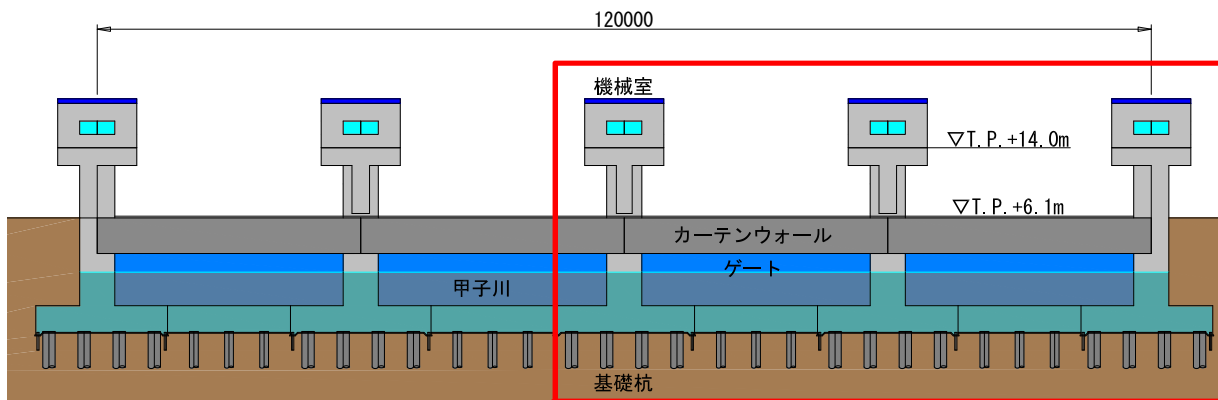


2. 釜石港の防護ライン②

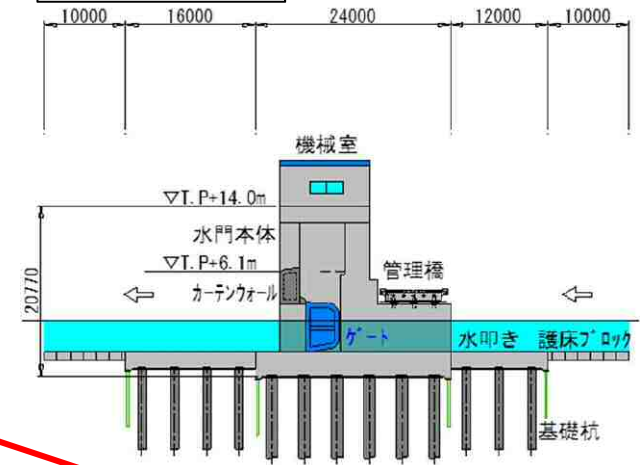


3. 水門の構造①

水門正面図



水門側面図



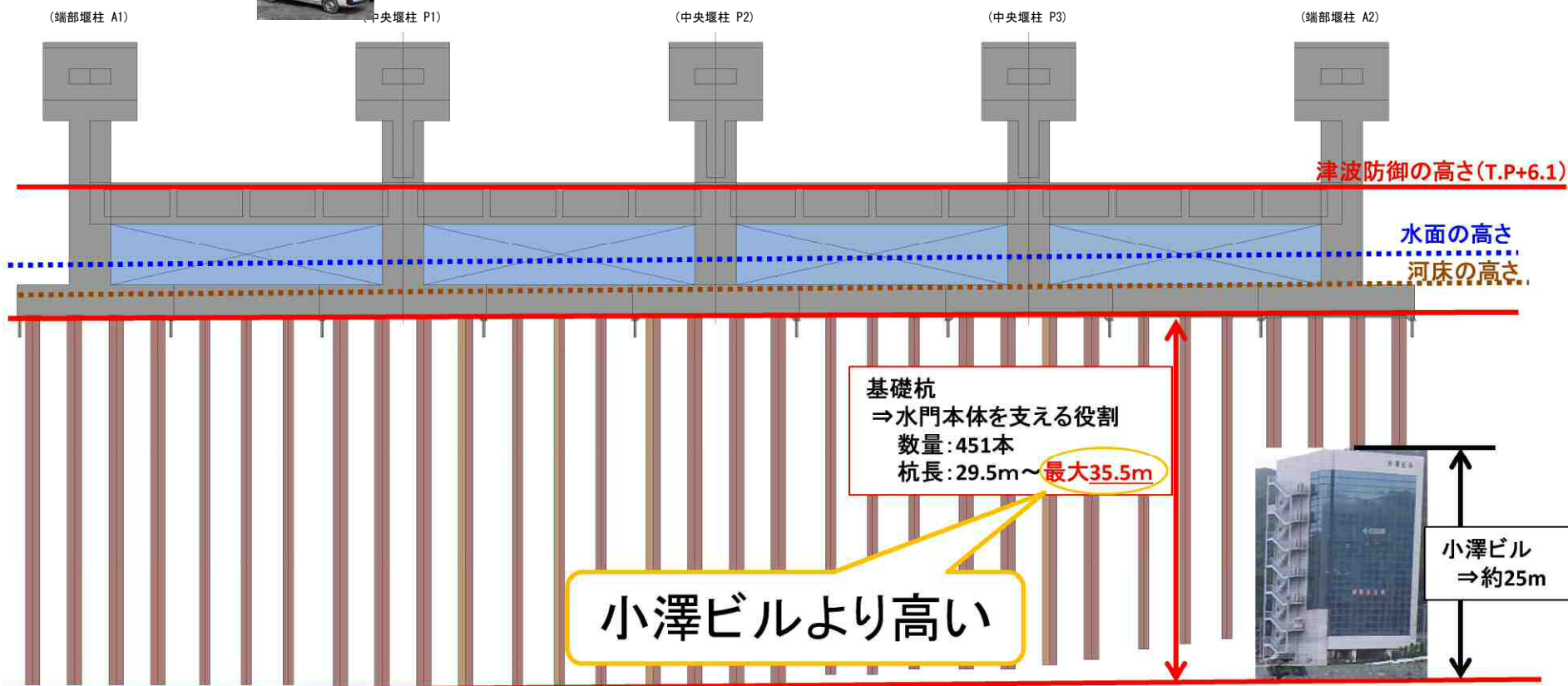
4. 水門の構造②

断面図(矢の浦橋から釜石港を望む)

一般車両約4万5千台に相当



水門本体
⇒直接津波を受け、防御する役割
重量:約6万t(24,000m³)



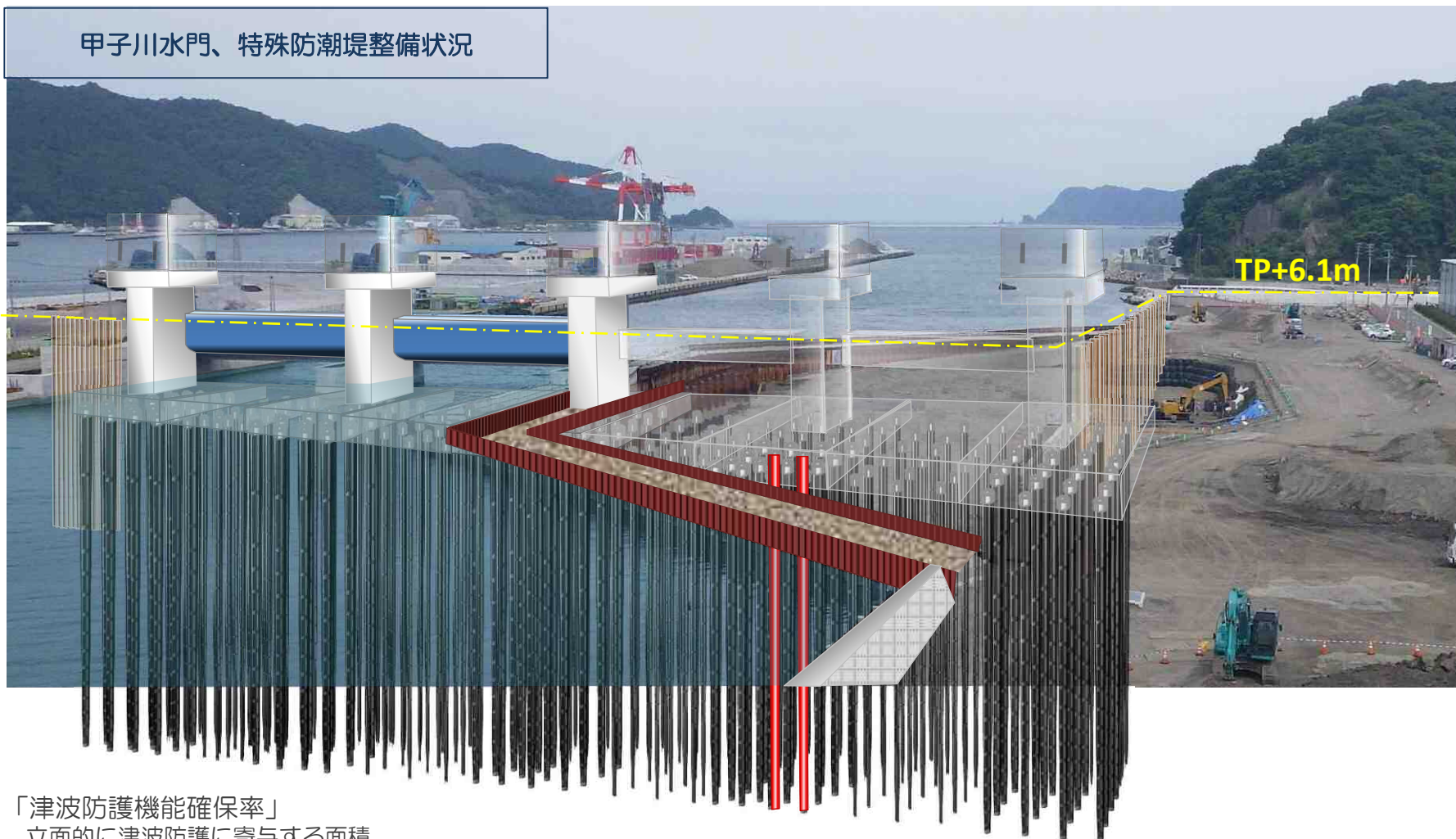
杭打設の支障となる多数の巨石や津波瓦礫が地中に存在

5. 現在の状況（津波防護機能確保状況）

H30.10末時点

津波防護機能確保率 52% （水門区間 88% 防潮堤区間 0%）

甲子川水門、特殊防潮堤整備状況



「津波防護機能確保率」
立面的に津波防護に寄与する面積
土中の壁構築施設（杭）を含み地盤の改良は除く

【今回特筆事項】
支障基礎杭補助工併用施工中

※本図はイメージであり細部等は異なります。
津波防護ラインに直接係る施設のみ明記しています。

6. 現時点での今後の予定

(1) 基礎杭の打込み(平成30年7月中旬～10月末) [←現在](#)

⇒地中の巨石により作業に時間を要しています。

そのため、複数の補助工法を導入し作業を進めています。

(2) 右岸仮締切内の掘削(2回目)(平成30年10月末～12月中旬)

(3) 水門本体のコンクリート工事(平成30年12月末～)

(4) 左岸側・右岸側の防潮堤工事(平成30年12月末～)

⇒作業中に大きな音が発生することがあります。

(5) 津波防護機能の発現(平成31年8月)

(6) 水門完成(平成32年3月)

※今後とも必要に応じて説明会を開催し、進捗状況や今後の予定について情報提供します。

今後とも、ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。



甲子川水門完成イメージ(下流側より)